

コロナ下での日本語教室について

市岡国際教育協会 理事長 札葉正隆

市岡日本語教室では、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、3月から教室を休止しました。その後、自粛要請の解除を受け、6月から再開準備に伴うリハーサル教室を開催し、7月からは正式に日本語教室を再開しました。

この時期の教室開催については活動休止を含めさまざまなご意見をいただきました。安全面を考えれば休止することが得策です。しかし、新型コロナウイルスの終息については先が見えません。何月何日まで我慢すれば、その後は従来通りに再開できるという目途も立ちません。ことによると、あと数年、現在のような状況が続くかもしれません。このような状況下では、コロナと共存しながら教室を継続して行くことが大切だと考えました。

そこで、感染拡大防止対策をとりながら教室を開催していくという結論に達しました。具体的には

- ① 全員マスクを着用する。(マスクをしてきてください)
- ② 受付で検温と消毒を実施する。37.5℃以上の方は参加をお断りします。(熱をはかります。37.5℃より高いとはいれません)
- ③ 机の間隔を空ける。換気に気をつける。机椅子等の消毒を行う。
- ④ 1回の学習者は原則として20人以下とする。紹介のない新規学習者は原則として受け入れない。学習は1対1を原則とし、学習担当ボランティアの人数以上の学習者は受け入れない。(学習者は20人まではいれます)

それ以外にも、感染拡大防止のために必要なことに留意しながら教室を続けて行きます。もちろん、学習者にもボランティアにも参加を強要するものではありません。コロナ対策が万全になるまで休まれる方は休んでください。

あわせて、教室に来られない方たちのためにオンラインでの日本語教室の試験実施も始まりました。詳しくは今号をご覧ください。市岡日本語教室は、感染拡大防止に留意しながら活動を続けて行きます。みなさまのご理解ご協力をお願いします。

現在試験実施しているオンライン学習の紹介です。オンライン学習に興味のある方は、1班の宮本さんへお問い合わせください。

Zoom日本語学習への招待

1班 宮本 潤一さん(ボランティア)
Zoomとは、最も満足度の高いWeb会議システムです。映像と音声を使って、遠くにいる人とのコミュニケーションができる



れば、世界中どこからでも利用できます。

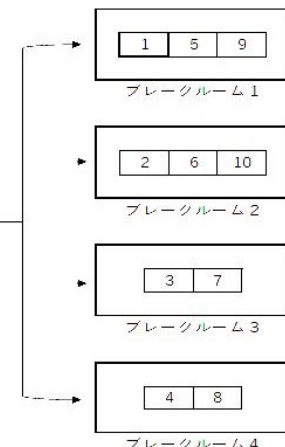
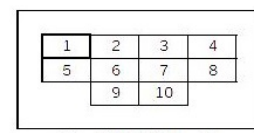
現在、市岡日本語教室では、日本にいるボランティア・学習者および台湾からの学習者も参加して、金曜日の日本語教室とは別の日にZoomで日本語学習をしています。

よかったら、ぜひ参加して下さい。人数制限はありません。

Zoom日本語学習に参加する方法を説明します。

- ① インターネットを長い時間(1時間30分位)続けて使うことができる、パソコンかスマートフォンを用意して下さい。
- ② 始める時間になったら、ミーティングホストがミーティングルームURL、ID、パスワードを参加者に知らせます。
- ③ Zoomアプリで、IDとパスワードを入力して参加できます。
- ④ Zoomアプリが無くても、URLをクリックするだけで参加できます。

Zoom日本語学習のイメージ



⑤ はじめに、ミーティングルーム参加者全員で、日本語のおしゃべりをします。

⑥ そのあとに、参加者が小さな

部屋(ブレイクルーム)に分かれて、小人数で日本語学習をします。

⑦ 最後に、もう一度全員が集まって、学習の様子・感想などを話し合っ、おわりです。

Zoomで何ができる？

1班 岡田 直美さん(ボランティア)

「Zoom」って聞いたことはあるけど、何ができるの？と思っ、いませんか。Zoomを使えば、どこにいても相手の顔を見ながら話すことができます。絵や文字を書いて一緒に見ることができます。2~3人の小さいグループに分かれて話すことができます。つまり、今まで日本語教室でしていたことがほとんどできるんです。

他にも、パソコンやスマホの中にある写真や動画、Webサイトを一緒に見ることができます。音声ファイルやCDも一緒に聞くことができます。今まで教室では聴解の練習はなかなかできませんでした。でも、Zoomを使えば他の音に邪魔されずに聴解の練習ができます。

また、チャット機能で、一度に全員の意見や答えを聞くことができます。メッセージを参加者全員にも、一人だけにも送ることができます。チャットを使えば、早押しクイズのようなゲームもできます。まだ他にもできることがいろいろあります。

もちろん、できないこともあります。茶道体験や浴衣を着ること、ピンポン玉リレーのような実際に体を使うことはできません。触ったり匂いをかいだりもできません。それに、ネット環境(WiFiを推奨)が無いと、Zoomを使うことができません。

7月から教室は再開されましたが、コロナ前のような教室活動はまだできません。これからは、教室だからできること、Zoomでできることを考えて、それぞれのいいところを利用したハイブリット日本語教室に進化していけたらいいなと思っます。

オンライン教室はじめました

1班 松本 渚さん(ボランティア)

コロナウイルスの影響により、たくさんの方がひとつの場所に集まることできなくなったことから、1班ではオンライン会議システム「Zoom」を使った学習会を試験的に開始しました。

オンライン教室への参加方法はとても簡単です。

Zoomアプリを自分のPCやスマートフォンにダウンロードしておくこと！これだけです。

オンライン教室でも、弁天町の教室と同じように学習者とボランティアがペアになるようグループを分けて学習を行っています。

オンライン教室は、今のところ毎週水曜日の19:00から行っており、

現在の参加者はボランティア、学習者あわせて10名ほどですが、海外は台湾から参加して下さる方も。

自宅から参加できるせいか、みなさん何か食べたり飲んだりしながら

リラックスしています(笑)

自由でゆるやかな雰囲気、オンライン教室の特徴と言えるかもしれせん。

私の職場は神戸市内にあるため、弁天町の教室までは電車で1時間少しかかります。

これまでは仕事の都合で間に合わないことが多いのが悩みでしたが、今ではほぼ毎週オンライン学習会に参加することができます。

コロナウイルスがいつ収束するのか予測できない今、どこからでも参加することができるオンライン教室は新たな学びの場として定着していくのではないのでしょうか。

弁天町の教室に行くことができない方、Zoomを使った学習会に興味のある方はぜひご参加ください。

オンライン教室でお待ちしております！

ZOOM 感想

1班 蔡 萍婷さん(台湾)

皆さんこんにちは。私は台湾から参りました。サイと申します。

最近新型コロナウイルスのせいで、日本は自粛しています。その

影響で不便な生活をしています。みんな人が多い所へ行かないよう

に生活をしています。人が多い場所は職場だけではなく、学校、スー

パーや公園の様々な所など結構大変だったんです。ただ、良いこと

もみなさんにお知らせしたいです。Zoomグループのおかげで、どこで

も日本語の授業ができます。両親のために台湾に戻りましたが、

Zoomグループを使えば授業は問題ないと思っます。そのアプリを

使って友達とコミュニケーションも大丈夫そうです。

直接会うことと比べるとはできません。しかし、日本にいる友達も

台湾の景色を見られそうです。

この写真はうちの前に立

っているマンゴーの木の様子

です。皆さんにシェアしたいと

思っます。

台湾は安心して暮らせるい

場所です。政府が一生懸命効果ある政策を考えます。そして

早急に実行してくれ本当にありがたいと思っます。世界中のみんなが

一緒に新型コロナウイルスを乗り越えてほしいです。

